

第50回 水道週間

児童生徒作品展
入賞作品集

ただいまアー
蛇口ひねって
水ゴクリ



会津若松市水道部

第50回水道週間児童生徒作品展入賞作品集

【図画の部】

・小学校低学年	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	1
・小学校高学年	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	4
・中学校	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	7

【習字の部】

・小学校低学年	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	10
・小学校高学年	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	11
・中学校	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	13

【標語の部】

・小学校低学年	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	15
・小学校高学年	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	16
・中学校	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	17

【作文の部】

・小学校低学年部	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	18
・小学校高学年	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	25
・中学校	市長賞・議長賞	33

【図画の部】

〈小学校低学年〉



[市長賞] 会津若松市立永和小学校 1年 佐藤 哲人



[議長賞] 会津若松市立謹教小学校 2年 鈴木 廉



[教育長賞] 会津若松市立行仁小学校 2年 二瓶 堅太



[理事長賞] 会津若松市立永和小学校 3年 鈴木 杏梨



[管理者賞] 会津若松市立永和小学校 3年 吉田 小夢

■ 審査講評

水をさまざまな場面でとらえ、水がほとばしるイメージを巧みに表現している作品が多かった。また、3年生になると表現に工夫をこらした技法的にも拡がりを見せている。

〈小学校高学年〉



[市長賞] 会津若松市立川南小学校 6年 高橋 啓



[議長賞] 会津若松市立川南小学校 4年 荒川 ひなの



[教育長賞] 会津若松市立一箕小学校 6年 井上 優樹



[理事長賞] 会津若松市立一箕小学校 6年 長谷川 佳美



[管理者賞] 会津若松市立松長小学校 5年 木村 浩満

■ 審査講評

伝えようとするメッセージをはっきりと表現した作品が多く、文字もしっかりと書き込まれている。青色を中心に水の表現が豊かで、美しい画面が多く見られた。今回は6年生の出品作品に意欲的な取り組みが認められ、水のとらえ方に多様な側面を見ることができる。

〈中学校〉



[市長賞] 会津若松市立第二中学校 2年 相田 惇紀子



[議長賞] 会津若松市立第六中学校 3年 渡部 莉穂



[教育長賞] 会津若松市立第五中学校 3年 小池 琢也



[理事長賞] 会津若松市立第二中学校 2年 一ノ瀬 奈々



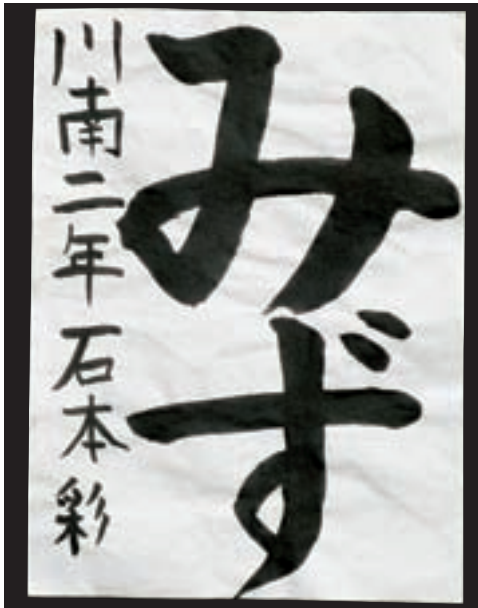
[管理者賞] 会津若松市立第五中学校 3年 白井 孟

■ 審査講評

上位賞の作品はいずれも伝えようとするメッセージを作画段階で的確に計画に進められている。それに伴う技法も確かなもので見ごたえのある作品群となっている。応募作品が少なく、優秀賞3点、佳作7点になっていることを付記しておく。

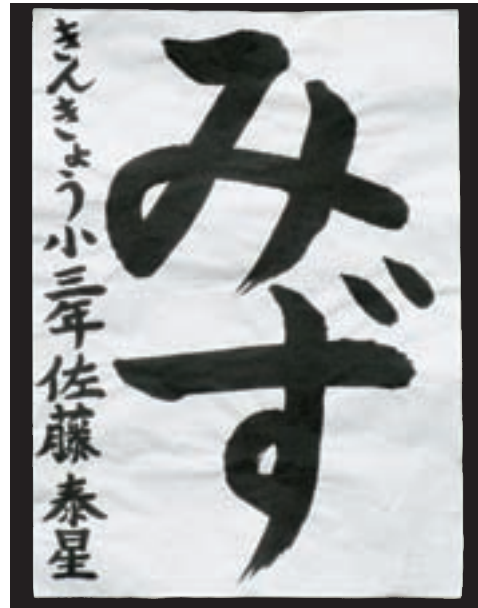
【習字の部】

〈小学校低学年〉



[議長賞]

会津若松市立川南小学校
2年 石本 彩



[市長賞]

会津若松市立譚教小学校
3年 佐藤 泰星



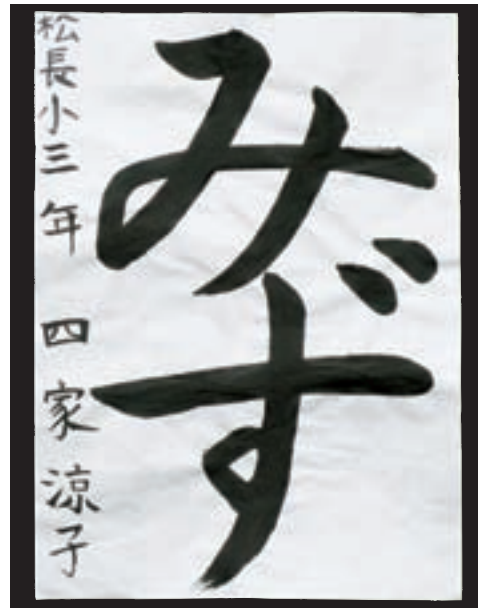
[理事長賞]

会津若松市立小金井小学校
3年 岩澤 明花音



[教育長賞]

会津若松市立行仁小学校
1年 林 瞳美



[管理者賞]

会津若松市立松長小学校
3年 四家 涼子

■ 審査講評

基本的な始筆・送筆・終筆ができた力強い作品が多数見られた。「み」
「す」ともに、回転するところと払いがポイントになる文字だが、毛
筆では、かなり難しかったと思われる。入賞した作品では、伸びやか
で力強い回転、払いが多く見られ、練習の成果が表れていた。課題の
練習とともに、氏名の練習も大切。課題の文字の出来映えに比べ、氏
名が物足りなさを感じる作品があり、とても残念に思う。小学校では、
1・2年生は、毛筆の学習はありません。たくさんの子童に参加して
もらうために、硬筆課題も検討していただいてはどうか。

〈小学校高学年〉



[議長賞]

会津若松市立小金井小学校
6年 金澤 夏海



[市長賞]

会津若松市立川南小学校
6年 本名 理紗



[理事長賞]

会津若松市立松長小学校
5年 佐藤 由輝



[教育長賞]

会津若松市立門田小学校
6年 佐藤 秀幸



[管理者賞]

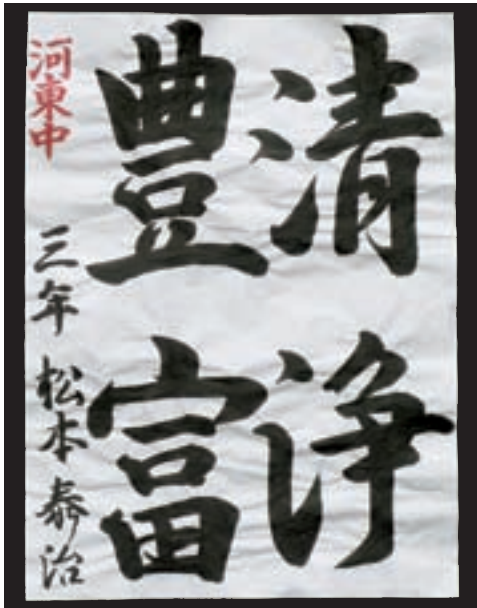
会津若松市立永和小学校
6年 古川 あづさ

■ 審査講評

どの作品も真面目に書かれ、水に対する思いが感じられるものばかりである。書く線には練習の度合いによって若干の差はあるが、多くは何枚、何十枚と書いたと思われる作品があった。同じ手本を見ても、一人一人には個性があるので出来上がった作品は全て異なるが、入賞した作品に共通するのは、生き生きとした感じがある。校名、学年、氏名は最も個性が出るところであるが、このところで差がついたものもあった。

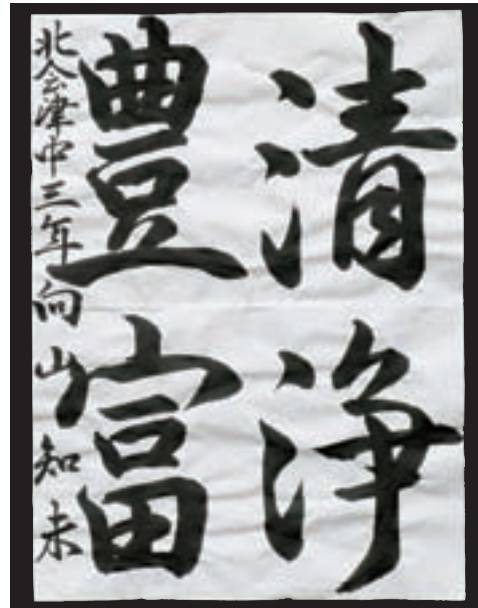
古来、会津は名水の地として有名である。青少年が水に対しての思いを強くし、更に多くの児童・生徒が作品を出すことを念願する。白い紙に墨で書く楽しさ、表現する喜びというものを感得していただきたい。

〈中学校〉



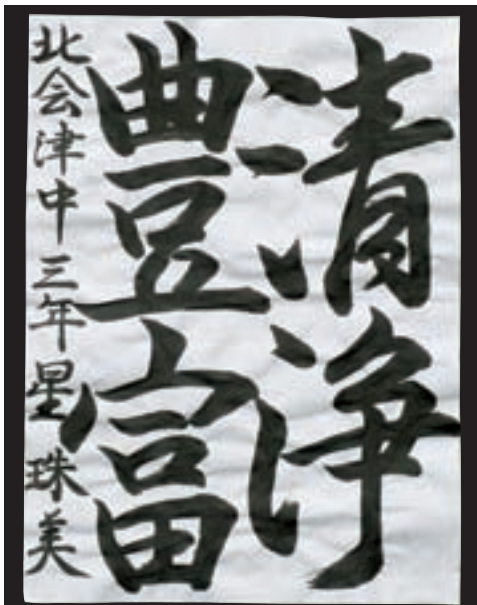
[議長賞]

会津若松市立河東中学校
3年 松本 泰治



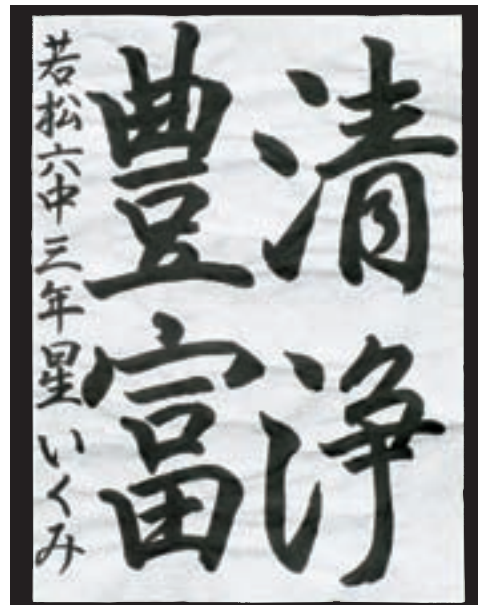
[市長賞]

会津若松市立北会津中学校
3年 向山 知未



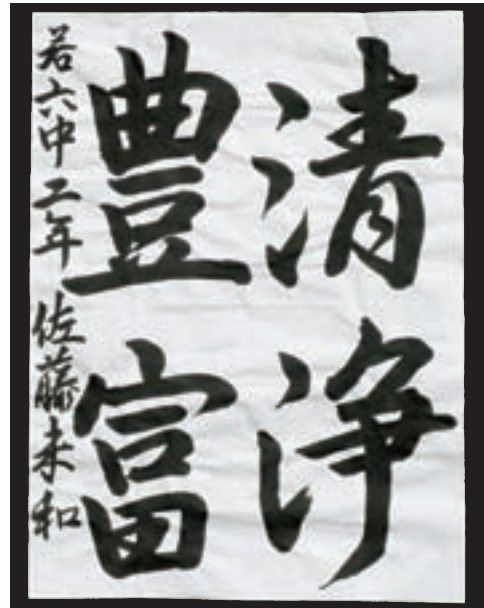
[理事長賞]

会津若松市立北会津中学校
3年 星 珠美



[教育長賞]

会津若松市立第六中学校
3年 星 いくみ



[管理者賞]

会津若松市立第六中学校
2年 佐藤 未和

■ 審査講評

中学校は行書課題であるが、行書の筆づかいができた。また、筆脈の連続した作品が入賞している。丁寧な中にもリズムと流れのある筆の運びが大切になってくる。形にとられすぎて勢いに欠けると行書の魅力は失われる。1年生に楷書の筆づかいが残るが、上級生になるにつれ行書に書き慣れている作品が多かった。大半は書いているが、課題が行書なので名前も行書で書きたい。3学年とも課題が行書であるが、1年生は1学期の終わりごろから行書に入るので、この時期であれば、1年生については楷書が良いと思われる。

例えば・・・1年・4文字楷書、2年・2文字行書、

3年・4文字行書

【標語の部】

〈小学校低学年〉

〔市長賞〕

会津若松市立城北小学校 三年 海老名 ひなた

おみず おみず おいしいおみず

会津のおみずゴツクンコ

〔議長賞〕

会津若松市立門田小学校 二年 高橋 龍正

おもいやりのこころがけ水ちよ金

〔教育長賞〕

会津若松市立城西小学校 三年 佐藤 善之

がんばったあと、水をのんだら

ぼくのパワーは、よみがえる

〔理事長賞〕

会津若松市立城西小学校 二年 武田 晃弥

すごいぞ 水どろろ

おふるもりようりも大かつやく

〔管理者賞〕

会津若松市立鶴城小学校 一年 二瓶 孝太

ながすのは むしばいきんだけ

じゃぐちをきゅ

■ 審査講評

小学校低学年の部では、普段の生活の中で水とかかわり、感じたことや考えたことを低学年らしく素直に表現している作品が多く見られた。特に水のおいしさや大切さ、ありがたさを表す表現にそれぞれの子どもの個性を感じた。作品の中には、水のことを地球や未来とのかかわりでもとらえて書いたものもあり、感心しました。また、文中には『会津』という言葉も見られ、自分たちが住んでいる『会津の水』への愛着も感じた。これからも水に親しみながら、水を大切に守っていくとうとする心を育ててほしいと思う。

〈小学校高学年〉

〔市長賞〕 会津若松市立松長小学校 五年 蛭田 崇孔

のどろるおし心うるおううまい水

つなげ子の代孫の代

〔議長賞〕 会津若松市立一箕小学校 五年 岩村 香苗

水道は 命を運ぶ 配達人

〔教育長賞〕 会津若松市立門田小学校 六年 馬場 亮汰

水道水 安心、安全ぼくらのライフライン

〔理事長賞〕 会津若松市立荒館小学校 四年 渡部 剛史

ぼくたちの 心へのこる 水の味

〔管理者賞〕 会津若松市立神指小学校 五年 岩澤 有以

あいづつこの水は

あいづつこがきれいにします

■ 審査講評

上位作品（市長賞・優秀賞）については優劣つけがたい作品の内容であった。審査内容は、特に、作品作者の①生活実感から感じられたもの、②水資源として水、自然の大切さ、③地球規模でのライフライン、④水道週間にかかわる項目、等に分類され、それぞれ個性ある作品が多かった。特に、水を巡る世代間の交流や、毎日生活している水の味、会津のきれいな水、について、夢のある、聞こえるような水の音が目に浮かんでくる。また、発想の新しい作品もあり、今後の作品が楽しみ。標語は、短い語句で、主義・主張・信条等を簡明に言い表すことが必要であり、端的に生徒の作品が直に伝わるものでなければならぬ。その意味では、未来につなぐ、前向きな明るい作品を今後も期待したいと思う。今回の作品では、『水』は私たちの生活に欠かせない生命とつなぐものとしての重要性は多くの生徒さん達がわかっていたものの、また、第50回を記念する水道週間が数を重ねることに高度・複雑化したものの、やはりいつの時代でも、生活実感のなかで得られた貴重な作品は語り伝えていかなければならないと考えている。

〈中学校〉

〔市長賞〕 会津若松市立第四中学校 三年 大原 千奈

たったこれだけ その少しの水で

人が泣きその少しの水で人が笑う

〔議長賞〕 会津若松市立第六中学校 一年 千葉 あかり

毎日のくらし流す水にもやさしさそえて

〔教育長賞〕 会津若松市立第四中学校 三年 五十嵐 麻美

生きる糧 生命の源 水資源

〔理事長賞〕 会津若松市立第六中学校 三年 雪野 悠

水の音 涼かさ香る すんだ音

〔管理者賞〕 会津若松市立第六中学校 一年 渡部 友希

大切な地球の恵み

暮らしの中で生きている

■ 審査講評

中学生の部では、水を貴重な資源、生命の源といった視点でとらえた作品が多く見られた。広い視野で水について考え自分の言葉で表現していた。他には、水への感謝の気持ちや表現した作品や、安全性に触れた作品なども見られた。また、水を大切にしていきたいという強い意志が感じられる作品もあった。作品全体を通して、表現の工夫が多く見られ、出品者それぞれの思いが伝わってきた。今後環境や日常生活、生命等の視点から水の大切さについて考え、自分たちができることを実践していったらいいと思う。

【作文の部】

〈小学校低学年〉

〔市長賞〕

水をたいせつに

会津若松市立松長小学校 二年 伊藤 春佳

わたしは、おさんぽにいつて、水のたいせつさをしりました。それは、おさんぽでじょう水じょうまでいつてきたからです。おじいちゃんが、じょう水じょうのひみつをおしえてくれました。

わたしたちののむ水は、いなわしろからきています。いなわしろの水は、とつてもきれいな水を、しているけど、まだ、ばいきんやどろが入っているのめません。そこで、じょう水じょうで水をしょうどくをしてきれいな水にしてわたしたちのおうちにおくるそうです。じょう水じょうの中には入れなかつたけど、この大きなたてものの中で、水をきれいにしているんだなあとおもいました。じょう水じょうの人たちのおかげで、わたしたちは、いつもきれいな水をのむことができます。おくられてきた水どうの水を一てきでもむだにはいけな

いとおもいました。

じょう水じょうのちかくには、水の入った田んぼがありました。おじいちゃんは、

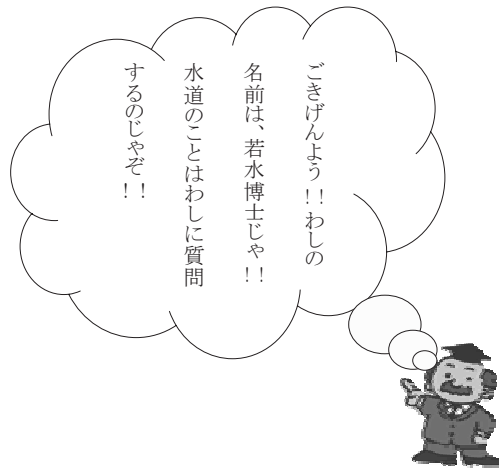
「これからなえをうるのに大せつな水なんだよ。水がなかったら、なえもそだたないし、おこめもとれないんだよ。」

と、おしえてくれました。おこめがとれなかつたらたいへんです。ごはんもたべられません。水って人のいのちをまもっているんだなあとおもいました。人のいのちだけではなく、おにわにさいているきれいな花も水をかけないとしおれてかれてしまつように、いろいろなところで水はやくにたっているんだなあとおもいました。

わたしは、おじいちゃんとあさのさんぽをしながら、水のたいせつさをしりました。だから水をたいせつにして水をやくにたたせなければいけないこともおもいました。

わたしのうちでは、さむいときにゆたんぽをつかってねています。ゆたんぽに入れるおゆは、おふろのおゆを二どわかつてつかいます。おふろのすこしきたなくなった水ですが、とてもやくにたっています。おばあちゃんは、コーヒーをのんだあと、おゆを入れてもう一どのみます。そうすると、カップによごれがつかなくて、水どうであらうとき、水をたくさんつかわなく

てすみません。このようにわたしのかぞくは、水をたいせつにつかっています。わたしも、なにかできることをかんがえました。まだ、ほんの小さなことしかできないけど、わたしは、じゃぐちをしつかりしめないときがあるので、しめるようにして水をポタポタおとさないように気をつけていきたいとおもいます。小さなことでも、しつかりできるようにがんばります。



「議長賞」

大せつな水

会津若松市立松長小学校 二年 藤本 幹太

ぼくのおかあさんは、まい日、おふろののこった水をつかってせんたくしています。どうしてせんたくのときに、よごれたおふろの水をつかうのかなあ、とおもって、おかあさんにきいてみました。

「水がなくてこまっている人たちもいるのよ。まだまだつかえる水をすてるのは、もったいないでしょ。」とおしえてくれました。

学校やいえやこうえんにも水どうがあって、じゃ口をひねれば水がたくさん出るのに、水がなくてこまっている人がいるなんて、かんがえたことがありますでした。

もし、水どうから水が出なくなったらどうなるか、ぼくはかんがえてみました。

あさおきて、はみがきやかおをあらったりもできないし、トイレも水がながせません。ごはんをつくったり、せんたくやおふろにも入れません。水どうがなくなると、本とうに大へんだなあとおもいました。

おかあさんが水の本をかりてきてくれました。よんでみると、

一人の人が一日でつかう水のりょうは、大きなペットボトル百二十二本ぶんの二百四十四リットルとかいてあり、びっくりしました。まい日みんなでこんなにかくさんの水をつかっていたら、本とうに水がなくなってしまうとおもいました。

つかっている水の中で、おふろにつかう水が一ぼんおおいとおもっていたけど、トイレでながす水が一ぼんおおいとかいてありました。二ぼん目におおいは、おふろでつかう水でした。シャワーを五分かんながしつづけると、大きなペットボトル三十本分の六十リットルもつかうことがわかりました。

おとうさんとおかあさんに、そのことをはなしたら、いえのシャワーは、せつ水シャワーという、すくない水でもつかえるシャワーをつかっていることや、こめをといだとぎじるを草花にあげたり、水をへらすくふうをしていることをおしえてくれました。

ぼくも、はみがきやかおや手をあらうときに、水をだしっぱなしにしないで、あらおうとおもいました。それと、そとに雨水をためる大きなバケツをおいて、たまった水を草花にあげようとおもいました。

いままで気がつかなかったけど、水は本とうに大せつだとおもいました。これからは、もっと水を大じにいていきたいです。

「教育長賞」

水となかよくしよう

会津若松市立城西小学校 二年 菊地 萌果

水は人よりも、えらいと思います。だって水は人がいなくてもだいじょうぶだけど、人げんは、水がないと、生きていけません。

わたしたちは、まい日水にたすけてもらって生かっています。あさ、おかあさんが、水どうのじゃ口をしずかにまわしながら、お米をとぐシャワー、シャワー、という水の音からはじめて、かおをあらったり、はをみがいたあとうがいをしたり、一日なんかいものがかわいて、水をのむとき、そしておトイレも、あせをかけたからだをきれいにするときおふろに入ったり、よごれたおようふくをせんたくするとき、そしておかあさんがちやわんをあらったり、ふきそうじをしたり、きれいにするとき、いっぱいいっぱいおせわになっています。どうもありがとうございます。

水は、かおもないし、色もあじも、ありません。でもわたしは水と友だちになってクリスマスパーティーやおたんじょう日のおいしいのときによんであげたいです。でもなにをプレゼントしたらいいのかわかりません。いろいろかんがえてみまし

た。「あつそうだ。むだにつかわないでたいせつにしてあげよう。そしたらきつと水さんよろこぶよ。これが一ばん。」だと思いました。

ドラえもんはタケコプターを小さくしたようなじや口をキユツとまわすときれいな水が出てくれるので、とてもうれいしです。でもどのようにしてジャーと出てくるのかとてもふしぎです。

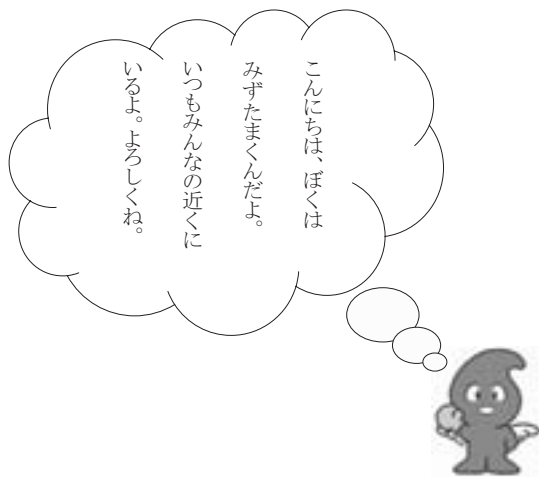
そこでわたしはおかあさんにきいてみました。

「雨や雪がふって水がいったまるとじよう水じようというところできれいにしようどくをしてくれて、水どうかんの中をとおって出てくるんだよ。水どうかんは、土の中にうめてあつてちよつとわからないかもしれないけど、みんなのおうちまできならずとどいているんだよ。」とおしえてくれました。

わたしは雨がふったり雪がいったまると「いやだなあ、ふゆがこないといいのに。」なんて思っていたけど、おかあさんの話をきいてびつくりしました。

花や木がげん気になるのもやねや、どうろがきれいになるのも、雨たちのおかげなんだね。水はこうして生まれてくるのね。しらなかったなあ。晴れの日ばかりでは水は、水どうから出て

こないです。「これからはいやな雨の日も、よろこんでくしゆをしなくちゃ。」と思いました。
人と水はいつもいっしょにくらしています。水のおかげでげん気に生きています。これからも水のことたいせつにするからなかよくしてね。



「理事長賞」

水のびょういん

会津若松市立鶴城小学校 二年 森田 燎

「ちよつときて。」

おばあちゃんのこえです。

ぼくは、どうしたのかなといえからとびたしました。

ザリガニを入れておいたバケツの水が、まんたんになってあふれていたのです。

「あれ、こんなにたくさん水を入れておいたっけ。」

ぼくはザリガニが、にげださなかったかしんぱいになりました。のぞいたら、バケツのそののほうに、二ひきがいたのであんしんしました。セーフです。

「きのう、水をのんだときじゃ口をきちんとしめなかったの。」とおばあちゃんにきくと、

「じゃ口はしめてあったんだよね。」

とふじきそうに、じゃ口を見ていました。

「ポトン。」

と、水がおちてきました。きのう水をのんだとき、しつかりとしめなかったのではよるのあいだにバケツいっぱいになったのです。

「しまった。水をむだにしてしまった。」

とぼくは、おもいました。

おばあちゃんが

「バケツ一ぱいの水は、ペットボトルでなん本になるか、しらべてみようか。」

といってペットボトルをもってきました。なんと十本ありました。!!びっくりしました。

こんどは、牛にゆうびんでしらべました。二十五本もありました。一くみのみんながきゆうしよくでのむ牛にゆうびんとおなじかずです。またびっくりです。

「この水は、どこからながれてくるの。」

とおばあちゃんがきいたので、

「じょう水じょうだよ。」

ぼくは、ようちえんのとときいったひがし山じょう水じょうのことをはなしました。

大きなタンクがあつて、大きなゴミをとるところ、小さなゴミをとるところ、しょうどくするところ、水そうの中にいた金ぎよのこともはなしました。

ぼくは

「じょう水じょうは、水のびょういんだ。」

「じょう水じょうではたらいしているおじさんはおいしやさんだ。」

とおもいました。

水をきれいにしてくれて、ぼくたちをまもっているんだなあとおもいました。



「管理者賞」

水をむだにつかわない

会津若松市立行仁小学校 三年 井上 翔太

ぼくは、いつもつかっている水道水について気をつけている事があります。それは、つかう時に水を出す。そして、つかわない時には、止める。と言う事です。

その理由は、一年生のころ学校の水のみ場で、うがいをして いる時にだれかが水を出したままで、教室にもどってしまいそ れを見たぼくは、(もったいないなあ)と、思ったからです。

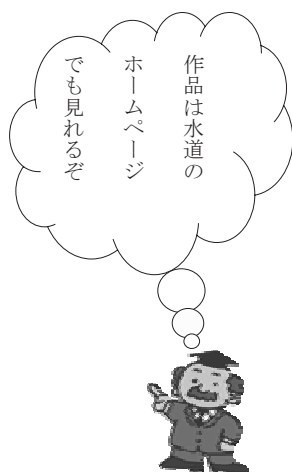
インターネットで「なんみん」と「生活の水」についてしらべました。生活にひつような水は、りよう理やせんたくをする水をふくめると、少なくとも、十八リットルです。でも、なんみんの人たちは、一日一人につき四リットルから五リットルしかもらえません。そして、ぼくたち日本人は、一日一人あたり三百八十一リットルもの水道水をつかっています。たとえば、食きあらいき一回につき十八リットルつかいます。もしもなんみんの人たちが食きあらいきをつかっていたら、一日何ものめなくなるのだとぼくは、思いました。

そして、ぼくは、なんみんの小さな子どもが、のむための少しの水をくみに来ている写真を見ました。タンクの所に行かな

いと、水がくめなし、少しの水しかもらえないのでかわいそう
だと思いました。

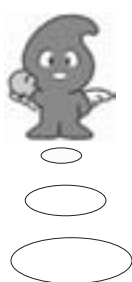
でも、ぼくたち日本人は、のめる水をなんみんの人たちとく
らべたら、日本人の方が多くつかっているし、のめる水道水よ
りもきれいな水をのんだりつかったりしているので（ぜいたく
だなあ。）と、思います。

だから、手をあらう時や歯みがきやあらい物する時、シャワ
ーをつかう時など水道水をつかう時は、出す。つかわない時は
止める。という事が、大事だと思います。ぼくだけでなく学校
の友や家ぞくみんなにも、どんどん水の大切さを、教えて行き
たいと、思っています。



■ 審査講評

身近な生活や経験から改めて水の大切さを感じ取った作
品が多く、好感が持てた。特に家族との会話の中で水について
学んだり、家族と一緒に水について調べたりすることで、児童
の意識が高まっていった作品が印象に残った。会話や水に対す
る自分の発見、驚きが素直に表現されている作品が、多く見ら
れた。内容がよくても、規定の字数に足りない作品、原稿用紙
の使い方や表記の間違いが見られた作品があった。十分確認し
たうえで、提出していただきたい。



ホームページアドレスは

<http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/>

[ja/kurashi/suidou/index.htm](http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/ja/kurashi/suidou/index.htm)

〈小学校高学年〉

〔市長賞〕

記念日

会津若松市立松長小学校 五年 蛭田 崇孔

「今日は仏めっかー。」

何気なくカレンダーをのぞきこみ、つぶやいたぼくの一言で、ぼく達家族の一日がくるった。

五月一日、月初めできりのいいこの日、ぼくらは新居での生活をスタートする予定だった。そう、本当なら『引っこし記念日』。

でも、お父さんが言うんだ。

「引っこしは大安の明日しよう。」

って。お母さんが前もってだん取りしていた水道局との約束では、四月三十日で水が止まるというから、さあ大変。

「一日位、何とでもなるさ。」

軽く考えていたぼくは、今まで経験したことのない苦つうを味わうはめになった。手も洗えなければ、ご飯も炊けない、トイレは使えないし、もちろん歯みがきやお風呂だって。

一つ、また一つ水が使えないことの不便さを感じるたびに、ぼくは今までの生活を深く反省した。じゃ口をひねれば当たり

前のように水が出る毎日に感謝の気持ちを忘れていたことを。手を洗う時、歯みがきをする時、流しっぱなしにしていた水の無だ使い。毎日食べるお米だって、水のおかげでふくらみおいしいご飯になることなど考えもせずに、平気で残していたこと。今になって後悔することの何と多いことか。

トイレを流すのに、お風呂の残り湯をくんで流してみると、実に大きなバケツ一つ分もの水が必要なのが分かった。いつもなら、いとも簡単にレバーをひねるだけの行動でこんなにたくさんの水が使われていたなんてびっくりだ。夜になると、運動会の練習でたっぷりかいた汗が、ぼくの体をベタベタにした。だけとガマン、お風呂はおあづけ。たった一日だけなのに、入れないと思うと、気持ち悪さに輪をかけて、辛いような悲しいような何とも言えない気持ちの心をかき乱した。

しょんぼりしていたぼくに、

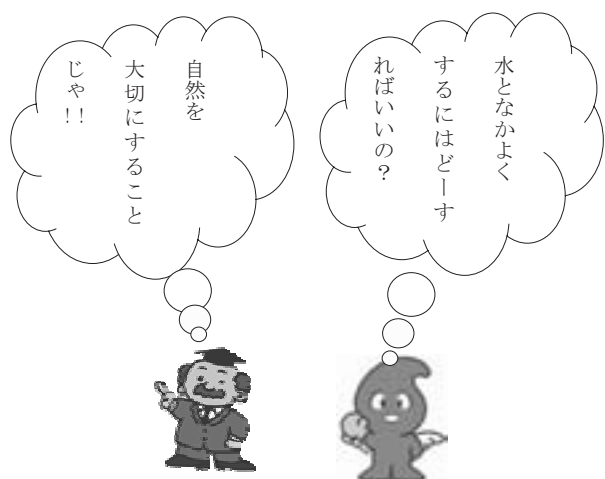
「お風呂に行こう。」

お父さんがさそってくれた。いつ以来だろうか。伸ばしても伸ばしても足の届かない大きな湯船の中でちっぽけな自分が付いた。今まで、こんなにも水が大切が存在だったと考えることがなかった自分がすぐはずかしかった。それと同時に水を使えない不便さを感じたことで、一滴の水さえも愛おしい

と思う感謝の気持ちがあふくらしゅん間でもあった。

乾いたのどをいやすため、販売機の前でにらめっこ。真っ先に伸びた指先に『お水』のボタンが触れていた。ちよっぴり大人になった気分で乾杯。思い出の詰まった家ですごす最後の日。貴重な体験ありがとう。

『命の源、水道水』いつかは買わずに飲める日を夢見て……。出来ることから始めよう。むだにたくさん使わぬ努力、汚さぬ工夫に再利用。決意新たにスタートだ。今日こそぼくの『水の記念日』。



「議長賞」

おいしい水を大切に

会津若松市立日新小学校 四年 浅川 美佳

わたしは水が大好きです。いっぱい遊んだり、スポーツをした後にお水を飲むと最高にすっきりします。おふろの後や、ごはんを食べている時もお水を飲みます。

「美佳はお水がすぎだね。」

とよく言われます。わたしは一日でどのくらいお水を飲んでいいのかと思って調べてみたら、一日に一・五リットルのペットボトル一本分くらい飲んでいることが分かりました。

旅行に行った日、ホテルに着くとすぐに、わたしは水道のじや口をひねって水を飲みました。

『あれ、なんかいつもの水と味がちがう。』

と思いました。食事の時、ジュースを飲みました。でもあまくて、よくごはんの味が分からないので、お水をたのみました。

飲んでみると、やっぱり水の味がちがいます。わたしだけかなあと思ってお姉ちゃんに

「なんか水の味がくない。」

と聞くと、お姉ちゃんが

「そうだね。いつも飲んでる会づの水はいなわしろ湖からひい

ている水だからしぜんにちかい味なんじゃないの。」

と言って、去年ホームステイに行った外国の話を教えてくれました。

「あのね、美佳。水道をひねったら、安心しておいしい水が飲めるのは、日本ぐらいで外国では、飲み水はミネラルウォーターを買うのが当たり前なんだよ。水にもしゆるいがあつて、飲めない水もあるんだよ。日本の中でも土地によつて味にはちがいがあつて、安心して飲める水がいつも近くの水道から出るということ、すごいことなんだよ。」

と教えてくれました。わたしは水道の水は全部飲めると思つていたのでびつくりしました。まだ水道ができていない国では、川の水や、どろ水をくんで生活している国があることはテレビを見て知っていました。水道から出ても飲めない水があるなんて初めて聞いたからです。お姉ちゃんは、

「外国では、水をとても大切にしているんだよ。お風呂に水をためる習かんはなくて、シャワーの時間も短くて、あらい物やせんたくも水を大事に使つていたよ。出しっぱなしにはしていませんよ。」

と教えてくれました。わたしは、はをみがいていたり、顔をあらつたりする時も水を出したままにしていたり、手をせっけん

であらう時もめんどくさいから水を出したまま手をあらつていたりしていました。使えるきれいな水になるまで、たくさんの方の力や時間がかかっている水をむだにしているのは、使える水が少ない外国の人に申しわけないと思ひました。水をむだにしないこと、水をよごさないようにすることは、おいしい水を守つていくために大切なことだと思ひました。いつでもおいしく飲める日本の水に感しやして大切に使ひたいと思ひます。



「教育長賞」

水の大切さを感じて

会津若松市立鶴城小学校 六年 森川 貴弘

先日、ぼくは牛乳を飲んで、もう飽きてしまったので、ついうっかり台所に流してしまいました。まさに、（後悔先に立たず）で、すごく後悔しました。ぼくは、以前から、ずっと地球の環境問題や、ワングリ・マータイさんという人やもつたいない運動などを調べていたので、水のごれのことなども知っていて、気にかけていたからです。

コップ一杯の牛乳を、台所に流すと、魚の住める川の水にするためには、お風呂十二杯分の水が必要だそうです。

この間も、家族で川遊びに行った時のこと、あたたかい日だったので、くつとくつ下をぬいで、ズボンをまくって、はだしで川に入りました。遊んでいる時、足のうらがチクツとしたので見てみたら、缶ジュースの缶がつぶれて、川の中に捨ててありました。それをふんでしまったので、とても痛かったです。川の中をよく見たら、たくさんの缶やペットボトル、そしてゴミがありました。ぼくたちは、車にもどって、ビニールのゴミ袋を取って来て、家族みんなで川そうじをしました。

父が、

「昔、お父さんが小さいころは、水がきれい澄んでいて、魚がたくさんいたのになあ。」

と言っていました。ぼくは、川に魚がたくさんいるなんて、今の川からは信じられませんでした。

ぼくたちは、夢中でゴミを拾い、おかの上に運んだのですが、すごく重くて、ズリズリひっばって行くほどでした。

夕食の時、みんなで、川をきれいにするためにはどうすれば良いのか、そして、水を大切に使うにはどうしたら良いのかを考えました。家族が、いろいろな意見を出しました。父は、顔を洗う時や歯をみがく時は、水を出しっぱなしにしないこと。兄は、川にゴミを捨てないこと。ぼくは、シャワーや水道を長く、そして強く出さないこと。そして母は、食事の後、皿のごれを一度、紙でふき取ってから洗い、洗剤は、川に流れても安心のものを使うことです。

ぼくたちの街は、水道のじゃ口をひねれば、おいしい水が飲めます。でも、外国には、水道の水が飲めない国がたくさんあります。おいしい水が、いっぱい飲める分、水に感謝しなければならぬと思います。そして、水を大切に使うように努力し、「ついうっかり」や「まあいいか」をなくしていかなければなりません。ぼくたち、一人一人が、心がけることが大切だ

と思いました。

小さなことでも、みんなが、こつこつと努力すれば、水の節約もできるしいつか魚のたくさん住める川にもできると思います。まずは、ぼくの家族から行っていこうと思います。そして、いつまでも、水道の水がおいしく飲める、ぼくたちの街にしていきたいと心から願うのです。



「理事長賞」

わたしの中の水の歴史

会津若松市立川南小学校 五年 佐々木奈津紀

わたしは、小さいころは、味もない、いかおりもしない水をあまりおいしいとは思いませんでした。でも、今は水の大切さを強く感じています。

わたしの家は農家です。米やいろいろな野菜を作っています。そこで水をたくさん使います。わたしも、自分の部屋で三つ葉をそだてています。土がかわいたら毎日水をやっていました。すると、いく日たったある日、芽が出ました。わたしはすごく感動しました。その芽は、生き生きとしていました。わたしは、自分でも水があれば植物をそだてることができました。わたしは、思いまたいろいろな野菜の種をまきました。まだ、芽は出ていませんが、芽が出るのが楽しみです。

わたしの家では犬を飼っています。犬の散歩は毎日かせません。朝やるようにしています。できないときは、夕方にやっています。散歩した後は、すぐくつかれている見たいなので水をたくさんみます。

わたしの家がかっている犬が一度病気になったことがあります。病気がよくなったのは、水のおかげです。とても元気が

なくなったときに、一番飲んだのが水でした。水が活やくして、病気はすっかりなりました。その後もよく水をのんで元気に生きています。

ほかの動物も水がないと生きていけないと思います。

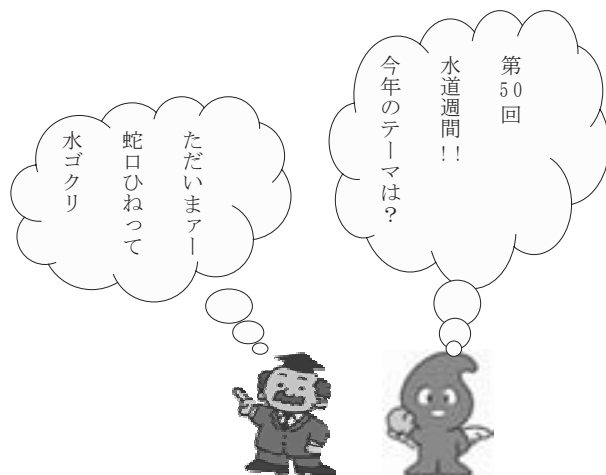
わたしはマラソンが大好きです。わたしは、五年生なので、マラソン大会などでは、三キロメートルを走ります。走った後は、のどがからからです。そのとき水を一口のむとすぐおいしく感じるのです。スポーツ飲料でもいいと思いますが、水の方がなにも入っていないので、スポーツ飲料には、マネのできないおいしさを感じます。なにも入っていない水の方が、なにか入っている飲料水よりおいしくのめるということが分かりました。わたしは、二年生のころからいろいろなマラソン大会に出ています。小さいころは、どちらかといえば、スポーツ飲料を多く飲んでいましたが、だんだん長いきよりを走るようになると、水が一番先にのみたくなります。

コンビニやお店で買う水の方がおいしいと言う人もいますが、私は、水道から出る水でも十分おいしいと思います。みなさんも水道から出る水をのんでみてください。きっと、お店の水をたよらなくてもだいじょうぶだと思います。わたしは、水のほかに、家で作ったお茶も持って行きます。これもなかなか

おいしいです。

いつのまにかわたしは、水が大好きになっていました。大好きになったのも、このようないけんをしたからだと思います。野菜や犬が、水で元気になるように、わたしも水から元気をもらっているのだと思います。

これからも、おいしい水道水をたくさん飲んで、マラソンをがんばりたいと思います。



〔管理者賞〕

水を大切にす

会津若松市立城南小学校 五年 矢澤 樹生

地球はその表面の、七割が海で、川などがたくさん流れているのに、水不足の国や大かんばつの国があるのが、不思議に思いました。

ぼくが思うのは、一番大きな原因は、人間が、木をたくさん切ったり、はいきガスや二酸化炭素をいっぱい出して、そのえいきょうで地球温だん化やいじょう気象がおこっているからだと思います。

ぼくが住んでいる会津や、その他の東北地方では、雪がたくさんふるため、雪どけ水などのおかげで、あまり水不足にはなりません。最近では地球温だん化のせい、年々雪の量がへっているのが心配です。

そして水は、人間だけでなくたくさんの動物や植物などにとっても、とても大切です。

このあいだ、ぼくは母と「アース」というえい画を見ました。その中で水をもとめて、何キロも行進する。たくさん象のむれを見ました。

大人の象や子供の象が、砂嵐にまきこまれながら、必死に歩

いていました。それでもつかれてたおれてしまう象や、むれとはぐれてしまう象がいました。とてもかわいそうでした。でも、水を飲まなければ死んでしまいます、まさに命がけです。

ぼくたちは、そこまでしなくても水が飲めますが、このままだともしかしたら近いしよる来、この象たちのように水を求めて、歩かなければならないかもしれせん。もしそうなったとしたら、ぼくたちは、歩きつづけることができるでしょうか、でもぼくには自信がありません。

そうならないためにも、今ぼくたちができることを考えていかなければなりません。たとえば、歯をみがいたり顔を洗ったりするときは、水を出しつづばなしにしない。お風呂の残り湯を洗たくにつかったり、ズックを洗うときに使ったりするなどで、きることから少しずつ努力していけば良いと思います。

また、地球やたくさん動物達のために、木を植えたり、車のエンジンをこまめにきって、二酸化炭素をへらす努力も必要だと思います。これらの活動によって、地球温だん化や、森林の砂ばく化や、いじょう気象が少しでも良くなれば良いと思います。

それで、いじょう気しよるや、かんばつや酸せい雨などがなくなれば、木もかれることもなく緑のダムとよばれる、木がた

くわえる水も多くなりそこから川をつたって湖や海に流れこみ、それがしよう発して雲となつて雨がふり、またそれが川をつたって湖や海に流れこむのです。

このように、これらをくりかえして、水がふえ人々の暮らしに、やくだつようになつたらいいと思います。

なので、緑のダムやふつうのダムの水も大切にし、これからも、節水などの工夫をして水を守っていききたいです。



■ 審査講評

読み終えて深く感じたことは、感受性、表現力を育てる環境がととのっている児童と、そうでない子どもとの違いである。良い教師との出会い、家族とのかわりが、感じることに、書くことを育てるのだということが、如実に現れる楽しさ、怖さである。たとえば、「記念日」を書いてくれた松長小学校の蛭田崇孔君。ひっこしの日が1日ずれ、まる一日水道の止まった生活を体験する願ってもできない体験であるが、このことについても、感じる力、表現する力が育っていなければ、ここまでは書けなかったであろう。とにかく、こういう機会があることによって、児童の眠っていた感性が磨かれるのだとしたら、大人たちは、こういう機会を作ってやるのが、今、一番不足している、感じることに、考えることをのばしてやる、大人からのプレゼントであろうかと思った。第50回をむかえる水道週間で、教師が、家族が児童と同じ方向を見る機会にめぐまれる、ということ、どれだけの児童が目がかがやかせて原稿用紙に向かっただろうか、と考え、そのお手伝いが出来たことを、うれしく思った。

〈中学校〉

〔市長賞〕

天からの恵み・水

会津若松市立若松第三中学校 三年 浅川侑子

「キュツ・・・ジャー。」

一年三百六十五日、私はいつでも水のお世話になっている。水が大好きな私にとっては、水なしの生活は考えられない。また、お風呂に入る時は、いつも温かい湯で迎えてくれる水。至福の時を過ごさせてくれ、一日の嫌な出来事も忘れられる。普段、何気なく使っている水。でも、私達日本に住んでいる者にとっては “安全できれいな水” だが、世界ではどうだろうか？日本ほど、水が豊富であるだろうか？普通に飲んで、“おいしい” と思える水であるだろうか？

私は今年の夏、オーストラリアへ二週間ホームステイをした。初めての海外、日本と違う美しさがたくさんあったが、悲しいことが一つだけあった。それは、私がいつも通り水道をひねって、水を飲んだ時のことである。

「・・・・・・・・ん？」

それは私が日本で飲んでいる水とは違う味だった。臭気があり、

何とも表現できない味だったのが今でも忘れられない。今までこんな水を飲んだことがなかった私は、そのすぐ後にゲリをしてみたい、シヨックに打ちひしがれた。

「そんな・・・こんなに美しいところなのに、なぜ、水道水がこんな味なの？では、ここの人たちは一体何を飲んでいるの？」

さらに、シヨックは続いた。

お風呂に入った時である。シャンプーをしようとするが、泡がなかなかたたず、まるでリンスをしているかのような状態になった。大好きなお風呂の時間が悲しい時間になってしまった。そしてこれらの経験をした私は、次の日から飲み水はミネラルウォーターを買い、シャンプーは日本で使う二倍の量を使って何とか泡立たせた。とても悲しいことではあるが、こうしなければならなかった。

日本に帰ってから私は、オーストラリアのことを本やインターネットでさっそく調べてみることにした。すると、オーストラリアの水は硬水で、水もあまり豊富ではないことがわかった。説明書きには、“硬水は飲料可だが、慣れない人はおなかをこわすことが多い。飲料にはミネラルウォーターが望ましい。日本の洗剤やシャンプーは泡がたちにくいので、あまり使用しな

い方がよい”を書いてあった。実にその通りだったので、びつくりしてしまった。他の国々をみても、イギリスやアメリカ、ニュージーランド、カナダなどの先進国も硬水だった。また、アフリカの国々は、汚染された汚い水を使うしかないを書いてあった。アフリカの人々は、洗たくや入浴、排せつはすべて海や湖の水を使っており、その汚い水を使うことによって病気にかかり、幼くして命を落とす人がとても多いことがわかった。もちろん、それらの国々には水道やお風呂、トイレなどはめったになく、“ぜいたく品”だという。私は心が痛んだ。私は普段、当たり前のように水を使い、それに対して感謝することもなければ、他の国々のことを考えることもなかった。ましてや、歯をみがく時も水を出しっぱなしで、お皿を洗う時も水をすごい勢いで出し、水が流れる音がゴーと鳴ったりなど、水をムダにすることばかりを行ってきた。そして、いつの間にか心の中では、“水は水道をひねれば必ず出るもの”と思っていた。こんな風に思っていた自分が急に恥ずかしくなり、申し訳ないという気持ちで心がいっぱいになった。普段、私は水がなくてはならない生活をしているのに、水をムダにしている。また世界の人々のことを考えたことは一度もなかった。もし、自分が日本人でなく、アフリカの人々だったら死んでいたかも

しれない・・・。と思うと、生きている自分が改めて幸せだと思ひ、水に感謝しなければならぬと思つた。他の国々の人が安全な水を使えないために、大切な命を次々と落としていくなかで、私は水が使えるという、限りなく恵まれた境遇の中で十四年間生きてきたのだ。こうして病気一つせず、毎日学校に元気に通えるのは実は水のおかげなのだ。

水は、時には大雨や川のはんらんなどの災害をもたらすことがある。しかし、それは私達に対して水を大切にしろ、というサインなのかもしれない。私達は毎日の生活の中で、食事、飲料、入浴、洗たく、排せつ・・・など、水を使わないと生きていけないのに、つい水をムダにしがちである。でもこうして世界を比較してみると、私達日本人は水道をひねるだけで、安全でおいしい水がでる、というかなり恵まれている環境の中で何気なく生活しているのである。しかし私達は安全な水を使うことに慣れすぎて、つい水への感謝がうすれてしまい、水を知らずのうちに汚してしまう。このことで水の再利用も困難になってくる。だから今、様々な環境問題の中でも、水の使い方を見直すことはとても重要なことだと私は思う。一人一人のちよつとした水への心づかいが、明日の水の運命を変えるのかもしれない。

〔議長賞〕

命の水

会津若松市立北会津中学校 三年 佐藤光咲

毎年、夏の太陽の暑さを感じる度に、幼い頃に近所の友達や兄弟と、水遊びをしたことを思い出す。家の庭に広げたビニール製のプールに溜めた水や、公園の水道の水で暑さを凌ぐことが、夏の私の遊びの一つであり、楽しみだった。水遊びは、ただ暑さをやわらげてくれるだけではなく、友達や兄弟とのコミュニケーションの場でもあった。

そんな無邪気にはしゃぐことがなくなった今でも、水は私の生活に無くてはならないものであり、とても重要なものであることに変わりはない。

私の家の台所には、蛇口が二つある。地下水と水道水の蛇口である。それをひねるだけで、いつでも安全で美味しい水を飲むことができる。地下水は、夏は火照った身体を冷やしてくれるかのような冷たい水が出てくるし、冬はそれと対比して、暖かい水が出てくる為、どんな季節でも心地良く飲むことができる。また、水道水は除草剤等の危険の心配がない為、安心して口にすることができる。先日私は、外出した際に自動販売機で、ミネラルウォーターを買って飲んだ。そのミネラルウォーター

の味は、家で飲んでいる地下水・水道水よりも、美味しいとは思えなかった。原産地はどこかも分からない、ペットボトルに入れた水よりも、自分の家の蛇口から出てくる水の方が、安心して飲めることは間違いない。このような、安全でしかも美味しい水が出てくる環境は、私達の生活だけではなく、沢山の人が、他の様々なものにも役立っている。

例えば、私の家の近所の橋や、私に通っていた小学校の近くにある橋の下には、時折鷺や鴨がいるのをよく見かける。幼い頃から見えてきたそんな風景を、私は当たり前だと思いつつ過ぎてきた。けれども、きれいな水が流れる環境だからこそ、鳥たちはやって来るのだということに気が付いた私は、そのことをとても誇りに思うようになった。鳥たちが躊躇なく各々の生活環境を選ぶということは、きれいな川・水道に、私たちがどれだけの有り難みを持ち、どれだけ大切に使用をしているのか、ということに置き換えることができるのだと思う。

この、「当たり前前に蛇口をひねれば、透通っていて美味しい、そして安全な水が流れ出てきて、私たちの生活を潤してくれる」環境は、単なる生活に欠かせないだけのものではないと思う。様々な面で私たちは水から、考えさせられることに気付く。例えば、身近な所に目を向けてみると、川に捨てられたごみ

が目にとまる。言うまでもなく、それらを捨て川を汚染しているのは私たち人間であり、川が汚染されて困っているのも私たち人間だ。そんな矛盾しているこの環境が続いていけば、誰一人として得をすることはなく、私たちは自分で生活をおびやかしている。

贅沢な水で乾いた喉が潤されたとしても、環境への配慮という心遣いは乾燥したままではいけないのだ。きれいな水で汚れが落ちきったとしても、その水が汚れるのでは、結果的に“汚れ”は消えない。このような環境に対しての当たり前のことに、もっと真剣に取り組んでいくことが、これからの課題としてあげられると思う。私たちは、水の存在を当たり前のものと思っではならない。むしろ世界的に見れば、蛇口をひねるだけで安心して美味しい水が飲める方が少ないのだ、と言うことを忘れてはならない。沢山の人に支えられて水はある。だから、私たちは大切な水滴も粗末にしてはならないのだ。

一人一人の考え方、きれいな水・汚染されていく環境に対しての心遣いや行動が、潤いに満ち溢れる環境をこれからに守り続ける為の命綱であると思う。いつまでも、きれいで透き通った水が飲めるように、私たちは考え、行動しなければならぬ。水は皆のものであり、命そのものなのだから。

■ 審査講評

出品作品が少なかったが、内容や表現において、充実したもののばかりであった。すばらしかったのは次の点である。①題のつけ方：内容をよく表し、読者をひきつけるものである。②出だしの書き方：具体的で共感できる内容であり、かつテーマにつながるものである。③一文が短い：簡潔な文であり、きびきびとしている。体言止め等も効果的に用いている。④体験をもとにして述べている：水・水道水に関係する自分の体験を具体的に述べており、その際の思い・考えにも共感できる。⑤視点や言葉が自分のものとなっている、新鮮である：例『きれいな水で汚れが落ちきったとしても、その水が汚れるのでは、結果的に汚れは消えない』『次の日から飲み水はミネラルウォーターを買う、シャンプーは日本で使う二倍の量を使って何とか泡立たせた。とても悲しいことではあるが、こうしなければならなかった』等である。時間をかけ、言葉を丁寧に使っていることに好感がもてた。

◆審査員の方々

○図画の部・会津若松市立永和小学校	星 清智 先生
会津若松市立第五中学校	埜渡 さえ子 先生
会津文化団体連絡協議会	佐藤 功 先生
○習字の部・会津若松市立日新小学校	矢澤 弘子 先生
会津若松市立第二中学校	兼松 満朗 先生
会津文化団体連絡協議会	樋口 朝亭 先生
○標語の部・会津若松市立城西小学校	坂内 浩一 先生
会津若松市立第六中学校	久保木 貞子 先生
会津文化団体連絡協議会	石田 卓史 先生
○作文の部・会津若松市立小金井小学校	佐竹 美紀子 先生
会津若松市立一箕中学校	渡部 浩 先生
会津文化団体連絡協議会	木村 麗子 先生

◆入賞者表彰式

日時 平成20年6月6日(金) 午後3時30分から
場所 ルネッサンス中の島

★おわりに★

ここに掲載されている作品は、水道部のホームページで
もご覧いただけます。

他に、優秀賞(各5点)、佳作(各10点)も含めた全
ての入賞作品が全国展に送られ、審査されます。

みなさんからのたくさんのご応募、ありがとうございます。
来年も多くの作品をお待ちしております。

これからも、安全でおいしい水を、
大切に使ってね!!
また来年も応募してね\(^o^)/



第 50 回水道週間児童生徒作品展入賞作品集

平成 20 年 6 月 発行

発行 会津若松市水道部

編集 水道部総務課

〒965-0064 福島県会津若松市神指町大字黒川字石上 33-2

TEL (0242) 22-6073 / FAX (0242) 22-6173

<http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/ja/kurashi/suidou/index.htm>